

令和7年度児童通所支援センターまなふる評価報告書

1. 事業所の理念

すべては子どもたちのために

2. 事業所の基本方針

- ① 3年で単年度黒字 5年で累積赤字解消 ※R4.初年度、R6.3年目、R8.5年目
- ② 配慮を要する子ども（家庭）を中心に考えた支援
- ③ 学校・保育所と連携・協働

3. センター評価のねらい

事業運営における具体的な問題点を把握し、サービスの改善及び質の向上を図ることにより、障害児の心身の状況に応じた適切な支援を行い、事業所関係者や保護者等から地域福祉活動その他センター運営に対する理解と参画を得て、地域から信頼されるセンターづくりを進める。

4. 評価の方法（令和6年度より保育所等訪問支援評価開始）

（1）自己評価

事業所の従業者が行い、「事業者向け放課後等デイサービス自己評価表」「事業者向け保育所等訪問支援自己評価表」の様式を用いて実施するものとする。

（2）保護者等評価

事業所を利用する障害児の保護者等が行い、「保護者向け放課後等デイサービス評価表」「保護者向け保育所等訪問支援自己評価表」の様式を用いて実施するものとする。

（3）訪問先施設評価（令和6年度より訪問先施設評価開始）

訪問先施設評価は、保育所等訪問支援の訪問先施設の教職員等が行い、「学校向け放課後等デイサービス評価表」「学校向け保育所等訪問支援自己評価表」の様式を用いて実施するものとする。

（4）事業所関係者評価

関係機関、地域住民等により構成された評価委員会が、次に掲げる事項について評価を行うものとする。

- ① 事業所を利用する障害児及びその保護者の意向、障害児の適性、障害の特性その他の事情を踏まえた支援を提供するための体制の整備の状況
- ② 従業者の勤務の体制及び資質の向上のための取組の状況
- ③ 放課後等デイサービスの事業の用に供する設備及び備品等の状況
- ④ 関係機関及び地域との連携、交流等の取組の状況

- ⑤事業所を利用する障害児及びその保護者に対する必要な情報の提供、助言その他の援助の実施状況
- ⑥緊急時等における対応方法及び非常災害対策
- ⑦自己評価及び保護者等評価並びに訪問先施設評価の結果をふまえた放課後等デイサービス及び保育所等訪問支援の提供に係る業務の改善を図るための措置の実施状況

5. 評価の結果

(1) 放課後等デイサービス

①評価の対象等（令和7年10月1日現在対象）

事業所の従業者7名、保護者等25世帯、学校9校に対して、「評価表」を用いて実施。
（無記名）

従業者	7名	100%
保護者等	26世帯（回収25世帯）	96%
学校	9校	100%

3段階評価「はい」「いいえ」のいずれかに○印。“わからない”“見たこと・聞いたことがない”場合は「どちらともいえない」に○印。

②主な指標

ア. 環境・体制整備

保護者・職員アンケートでは、活動スペースや職員配置数について「適切である」との肯定的回答が多く、特に保護者からは9割以上が環境面に満足している結果となった。令和7年度は、旧清水ヶ丘中学校への移転後初の通年運営となり、「支援室」「遊びの部屋」「個別支援室」など複数の空間を活用した支援が定着した。また、畑活動や体育館利用、課外学習など、子どもの発達特性に応じた環境構成がより充実した。

保護者の中には実際の支援環境を見る機会が少ない世帯もあるため、昨年度に引き続き参観週間を実施し、保護者や学校教職員が支援の様子を直接確認できる機会を設けた。

イ. 業務改善

令和7年度は、放課後等デイサービス・保育所等訪問支援の両ガイドライン改定を受け、支援内容の見直しと職員研修の強化を進めた。特に、本人支援の5領域（健康・生活／運動・感覚／認知・行動／言語・コミュニケーション／人間関係・社会性）に基づくアセスメントの質向上に取り組み、個別支援計画の作成・モニタリングの精度が高まった。

職員アンケートでは、PDCAサイクルへの参画や意見共有の機会について肯定的回答が多く、朝礼や所内会議での協議が定着している。

また、第三者評価や保護者評価の内容を業務改善に反映する取り組みも継続して行われた。

ウ. 適切な支援の提供・保護者への説明等

個別支援計画に基づく支援については、保護者・職員ともに高い肯定的回答が得られた。相談支援専門員や学校との情報共有を行うことで、支援の統一性が確保されている。

支援プログラムの公表については義務化に伴いホームページでの公開を実施した。
保護者からの相談対応についても、連絡帳・送迎時の対話・面談などを通じて丁寧に行われており、学校アンケートでも「助言がわかりやすい」との評価が得られた。

エ. 非常時等の対応

避難訓練は毎月実施し、火災・地震・風水害を行う体制が継続されている。
職員アンケートでも、マニュアルの周知や訓練の実施について肯定的回答が多く、安全管理体制が維持されていることが確認できた

オ. 満足度

保護者アンケートでは、・子どもは安心して通所している・通所を楽しみにしている・事業所の支援に満足しているのいずれも 90%以上が肯定的回答であった。
学校アンケートでも、・支援に満足している・子どもの行動が落ち着いてきたなどの意見が寄せられ、事業所の支援が学校生活にも良い影響を与えていることが示された。
子どもの放課後、休日の安心できる場所として事業所が信頼されるよう取り組みを進めていきたい。

(1) 保育所等訪問支援

①評価の対象等（令和7年10月1日現在対象）

事業所の従業者7名、保護者等24世帯、学校9校に対して、「評価表」を用いて実施。
(無記名)

従業者	7名	100%
保護者等	25世帯（回収24世帯）	96%
学校	9校	100%

3段階評価「はい」「いいえ」のいずれかに○印。“わからない”“見たこと・聞いたことがない”場合は「どちらともいえない」に○印。

②主な指標

ア. 環境・体制整備

保育所等訪問支援については、学校の協力のもと、原則として1学期間に1回以上の訪問を実施している。

R7年度は、短期的に支援が必要と判断される児童について訪問頻度を増やすなど、柔軟な対応が行れた。

訪問後には、担任や支援担当教職員と振り返りの時間を設け、学校での支援方針と事業所での支援内容の統一を図っている。

アンケートにおいて「訪問を通じて共通理解が図れる仕組みが良い」との肯定的意見が多く、連携体制が機能していることが確認できた。

一方で、保護者アンケートでは「どちらともいえない」との回答も一定数あり、訪問支援の目的や内容をより丁寧に伝える必要性も示された。

イ. 業務改善

職員アンケートでは、訪問支援後の情報共有や支援内容の検討について肯定的回答が多く、所内での協議が定着していることが確認できた。

また、ガイドライン改定に伴い、訪問支援の役割である「学校との連携」「家庭支援」「地域支援」の視点を踏まえた支援の見直しを進めている。特に、訪問先での観察内容を事業所での個別支援計画に反映させる取り組みが強化された。

ウ. 適切な支援の提供・保護者への説明等

訪問支援では、学校・園での子どもの様子を直接観察し、事業所では把握できない特性（集団場面での行動、言語使用、対人関係など）を理解することができている。

これらの情報は、事業所での支援内容の調整や個別支援計画の見直しに活用されている。

保護者アンケートでは、「子どもは訪問支援を嫌がっていない」「支援に満足している」との肯定的回答が 9 割を超え、訪問支援の意義が保護者にも認識されていることが示された。一方で、訪問支援の内容や成果について「どちらともいえない」と回答した保護者もあり、訪問支援の目的・内容・成果をより丁寧に説明する必要性がある。

エ. 非常時等の対応

マニュアルに基づき、避難訓練を毎月実施し、地震訓練と火災訓練、風水害訓練を行っている。

オ. 満足度

保護者アンケートでは、「訪問支援を嫌がっていない」「支援に満足している」のいずれも 90%以上が肯定的回答であった。

学校アンケートでは、「訪問支援員の助言がわかりやすい」「学校での支援に役立っている」との意見が多く、訪問支援が学校現場においても有効に機能していることが示された。

職員アンケートでも、訪問支援の必要性や効果について肯定的回答が多く、事業所内外での評価が高い結果となった。

6. 次年度に向けての展望

自己評価、保護者等評価、訪問先施設評価のいずれにおいても、令和 7 年度は概ね高い肯定的評価を得ることができた。特に、移転後の新しい環境での支援が定着し、保護者・学校双方から「子どもが安心して過ごせている」「落ち着いた行動が増えた」といった意見が寄せられたことは、事業所としての大きな成果である。

一方で、個別支援が必要な利用児への対応や、クールダウンスペースの活用方法、空調設備の改善など、職員アンケートから具体的な課題も明らかになった。これらについては、保護者・学校との連携をさらに深めながら、環境整備と支援方法の見直しを進めていく必要がある。

また、ガイドライン改定により求められるアセスメントの質向上や、本人支援の 5 領域に基づく支援の体系化については、引き続き研修機会の確保と職員間の共通理解の強化を図る。特に、支援プログラムの固定化を防ぐ工夫や、個別・集団活動のバランス調整など、日々の支援の質を高める取り組みを継続していく。

課外学習や地域交流については、移転後も商店街や地域施設の協力を得ながら実施できて

おり、子どもたちが社会性を育む貴重な機会となっている。次年度も、地域とのつながりを大切にしながら、公共の場でのルール理解や他者との関わりを学べる機会を積極的に取り入れていく。

令和7年度 評価委員会アンケート(放課後等デイサービス保護者向け)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	解答数
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24 (96%)	1 (4%)	(0%)		25
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19 (76%)	6 (24%)	(0%)		25
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24 (96%)	1 (4%)	(0%)		25
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24 (96%)	1 (4%)	(0%)		25
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24 (96%)	1 (4%)	(0%)		25
	6	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23 (92%)	2 (8%)	(0%)		25
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	24 (96%)	1 (4%)	(0%)		25
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24 (96%)	1 (4%)	(0%)		25
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25 (100%)	(0%)	(0%)		25
	10	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25 (100%)	(0%)	(0%)		25
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14 (56%)	9 (36%)	1 (4%)	1	25

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	解答数
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25 (100%)	(0%)	(0%)		25
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24 (96%)	1 (4%)	(0%)		25
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15 (60%)	10 (40%)	(0%)		25
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23 (92%)	2 (8%)	(0%)		25
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20 (80%)	5 (20%)	(0%)		25
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22 (88%)	3 (12%)	(0%)		25
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18 (72%)	5 (20%)	2 (8%)		25
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20 (80%)	5 (20%)	(0%)		25

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	解答数
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24 (96%)	1 (4%)	(0%)		25
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24 (96%)	1 (4%)	(0%)		25
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23 (92%)	2 (8%)	(0%)		25
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24 (96%)	1 (4%)	(0%)		25
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24 (96%)	1 (4%)	(0%)		25
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25 (100%)	(0%)	(0%)		25
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23 (92%)	1 (4%)	(0%)	1	25
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21 (84%)	3 (12%)	(0%)	1	25
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20 (80%)	2 (8%)	2 (8%)	1	25
	29	事業所の支援に満足していますか。	23 (92%)	1 (4%)	(0%)	1	25

令和7年度 評価委員会アンケート(放課後等デイサービス職員向け)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	解答数
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6 (86%)	1 (14%)	(0%)	7
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6 (86%)	1 (14%)	(0%)	7
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6 (86%)	1 (14%)	(0%)	7

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	解答数
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
適切な支援の指	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5 (71%)	2 (29%)	(0%)	7
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	解答数
提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	解答数
関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7（100%）	（0%）	（0%）	7
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3（43%）	4（57%）	（0%）	7
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5（71%）	2（29%）	（0%）	7
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3（43%）	4（57%）	（0%）	7
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5（71%）	（0%）	2（29%）	7
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7（100%）	（0%）	（0%）	7
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7（100%）	（0%）	（0%）	7
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3（43%）	3（43%）	1（14%）	7
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7（100%）	（0%）	（0%）	7
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7（100%）	（0%）	（0%）	7

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	解答数
保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3 (43%)	2 (29%)	2 (29%)	7
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	解答数
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7（100%）	（0%）	（0%）	7
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6（86%）	1（14%）	（0%）	7
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7（100%）	（0%）	（0%）	7
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7（100%）	（0%）	（0%）	7
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7（100%）	（0%）	（0%）	7
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7（100%）	（0%）	（0%）	7
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7（100%）	（0%）	（0%）	7
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6（86%）	1（14%）	（0%）	7

令和7年度 評価委員会アンケート(放課後等デイサービス学校向け)

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	解答数
1	職員の配置数や専門性は適切であると思いますか。	3 (33%)	6 (67%)	(0%)	9
2	日頃から子どもの状況を訪問先施設等と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持って支援ができていると思われますか。	6 (67%)	3 (33%)	(0%)	9
3	子どもは通所を楽しみにしていると思われますか。	7 (78%)	2 (22%)	(0%)	9
4	事業所の支援に満足していますか。	8 (89%)	1 (11%)	(0%)	9

令和7年度 評価委員会アンケート(保育所等訪問支援**保護者向け**)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	解答数
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	13 (54%)	11 (46%)	(0%)	24
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	21 (88%)	3 (13%)	(0%)	24
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	24 (100%)	(0%)	(0%)	24
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	22 (92%)	2 (8%)	(0%)	24
	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	20 (83%)	4 (17%)	(0%)	24
適切な支援の提供	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	23 (96%)	1 (4%)	(0%)	24
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）（※1）が作成されていると思えますか。	24 (100%)	(0%)	(0%)	24
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	18 (75%)	6 (25%)	(0%)	24
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	19 (79%)	5 (21%)	(0%)	24
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	21 (88%)	3 (13%)	(0%)	24
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	22 (92%)	2 (8%)	(0%)	24
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24 (100%)	(0%)	(0%)	24
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24 (100%)	(0%)	(0%)	24
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※2）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	11 (46%)	11 (46%)	2 (8%)	24

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	解答数
保護者への説明等	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	23 (96%)	1 (4%)	(0%)	24
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21 (88%)	3 (13%)	(0%)	24
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24 (100%)	(0%)	(0%)	24
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21 (88%)	3 (13%)	(0%)	24
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23 (96%)	1 (4%)	(0%)	24
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	22 (92%)	2 (8%)	(0%)	24
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	23 (96%)	1 (4%)	(0%)	24
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	22 (92%)	2 (8%)	(0%)	24
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21 (88%)	3 (13%)	(0%)	24
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23 (96%)	1 (4%)	(0%)	24
非常時等の対応	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	20 (83%)	4 (17%)	(0%)	24
	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23 (96%)	1 (4%)	(0%)	24
満足度	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	21 (88%)	3 (13%)	(0%)	24
	28	事業所の支援に満足していますか。	22 (92%)	2 (8%)	(0%)	24

令和7年度 評価委員会アンケート(保育所等訪問支援職員向け)

			はい	どちらともいえない	いいえ	解答数
体制・環境・整備	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	5 (71%)	2 (29%)	(0%)	7
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6 (86%)	1 (14%)	(0%)	7
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5 (71%)	2 (29%)	(0%)	7
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7

			はい	どちらともいえない	いいえ	解答数
適切な支援の提供	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5 (71%)	2 (29%)	(0%)	7
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	17	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	20	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6 (86%)	1 (14%)	(0%)	7

			はい	どちらともいえない	いいえ	解答数
関係機関や保護者との連携	21	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4 (57%)	3 (43%)	(0%)	7
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5 (71%)	2 (29%)	(0%)	7
	23	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3 (43%)	3 (43%)	1 (14%)	7
保護者等への説明等	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2 (29%)	2 (29%)	3 (43%)	7

			はい	どちらともいえない	いいえ	解答数
訪問先施設への説明等	32	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	39	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
非常時等の対応	40	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	41	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	42	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7 (100%)	(0%)	(0%)	7
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6 (86%)	1 (14%)	(0%)	7

令和7年度 評価委員会アンケート(保育所等訪問支援学校向け)

		はい	どちらともいえない	いいえ	解答数
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	9 (100%)	(0%)	(0%)	9
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	7 (78%)	2 (22%)	(0%)	9
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	8 (89%)	1 (11%)	(0%)	9
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4 (44%)	5 (56%)	(0%)	9
5	事業所からの支援に満足していますか。	7 (78%)	2 (22%)	(0%)	9